

浜松地区

そさい研究会の活動

浜松西農業協同組合

後藤悦夫

1. はじめに

浜松地区そさい研究会の活動について紹介する機会を得ましたので述べると共に、日頃の活動が農家の方々と営農指導をとおして接している農協職員の仕事ぶりの一面について関係者の参考になれば幸いです。

浜松地区とは静岡県西部、天竜川以西の地域を言い、愛知県との境、湖西市まで、北は引佐郡までを含みます。この地域の農協数は17農協あり、都市型の預金業務が中心となっている農協、花やそさい出荷の盛んな農協、ミカンの取扱いが中心となっている農協と色々です。

そさい研究会とは、この地域でそさい類について営農指導と販売業務等を兼務している農協営農指導職員の会です。発足は昭和51年4月で農協中央会が中心となって農協営農指導員の業種別組織作りの提案によってできました。現在、8部会140名余が活動しております。

そさい研究会は14農協30名の会員をかぞえ、これに県の普及員の方々に協力参加していただいております。会の事務局は昭和57年度より経済連浜松支所に担当していただいております。農協の販売事業との関連が多い事などから経済連にお願いする事となりました。また、経済連には肥料・農薬の担当課があり、研究会における各種試験圃の設置等につきまちは何かと御協力願っております。参考までに58年度は試験30件37ページに上る報告書を作成し、すでに関係者へ発表を終えております。

さてこの地域での自然的、気象的条件等については、多くの紹介がありますので省略いたしますが、いま話題となっている浜松テクノポリス建設については農地での建築は最少限にさせていただきたいと思っております。

2. 農業生産額

では、浜松地区の農業生産状況について紹介いたします。表-1は浜松地区の農業粗生産額についてです。この中で注目していただきたい作目は野菜とイモ類です。野菜はそさい類と言う事ですが、イモ類についてもそさい研究会の活動範囲となっております。

第1表 浜松地区農業粗生産額 (農林統計資料)

| 作物名 | 生産量 t | 金額 百万円 | 作物名 | 生産量 t | 金額 百万円 |
|-------|-----------------------|--------|-------|---------------------|--------|
| 米 | 7,519 | 2,016 | 養 蚕 | 2 | 4 |
| 麦 | 69 | 13 | 肉 牛 | 1,956 ^頭 | 633 |
| 豆 類 | 440 | 141 | 乳 牛 | 1,448 ^頭 | 115 |
| イモ類 | 19,511 | 1,828 | 成 牛 | 5,947 | 678 |
| 野 菜 | 82,588 | 11,135 | 養 豚 | 79,148 | 2,963 |
| 果 実 | 27,892 | 1,696 | 鶏 卵 | 12,890 | 3,558 |
| 花 卉 | 175,089 ^{千本} | 4,047 | ブロイラー | 2,462 ^{千羽} | 1,037 |
| 茶 タバコ | 4,598 | 1,071 | 農産加工 | 1,081 | 472 |
| ヘチマ他 | 3 | | その他 | 104 | 42 |
| 種 苗 | - | 242 | 合 計 | - | 31,691 |

(一部地域を除く)

当地区のイモ類とは主に三方原馬鈴薯と早掘甘藷です。この資料では農業全体で316億余の粗生産額となっており、そさい研究会の活動範囲としての野菜とイモ類の合計では、129億余の粗生産額となります。次に全国市町村別の農業生産額とその生産額順位を示した資料によりますと、浜松市は全国第2位となっており、その生産額は354億83百万円となっております。ちなみに1位は愛知県豊橋市で619億97百万円、3位は宮崎県都城市、4位は青森県弘前市と続いております。

では、そさい研究会の事務局を担当していただいている経済連浜松支所農産園芸課の取扱いについて紹介いたします。(表2参照) 青果合計では115億余となっており、その内訳は、そさい65億余、果実11億余、根菜38億余の粗生産額となっております。そしてこの115億余の取扱いは浜松管内青果類取扱い上位5農協で全体の70%余を占めます。これは研究会14農協と先に紹介しましたが、出荷実績の比較的高い農協はその半数程度と言う事になりそうです。また青果類取扱い品目数は130種余を数えますが、主要品目は30種ほどです。この30種で販売額全体の95%余を占めます。さらに経済連では管内で多くの農協で栽培し、取扱い額の高い品目について共販委員会を組織し、販売事業を進めております。

3. 共販委員会組織

第2表 昭和57年度経済連浜松支所品目別実績見込表 (単位金額千円)

| 農協名 | そ さい | | 果 実 | | 根 菜 | | 合 計 | | 金額 % |
|-------|--------|-----------|-------|-----------|--------|-----------|--------|------------|------|
| | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 | |
| 浜 松 西 | 8,162 | 2,177,269 | 2,306 | 355,737 | 20,958 | 1,889,876 | 31,426 | 4,422,882 | 38.3 |
| 湖 西 | 1,129 | 329,018 | 475 | 182,225 | 7,311 | 570,833 | 8,915 | 1,082,076 | 9.3 |
| 伊 和 富 | 3,474 | 873,623 | 179 | 106,468 | 1,520 | 198,363 | 5,173 | 1,178,454 | 10.2 |
| 浜 北 市 | 1,793 | 560,989 | 313 | 104,120 | 2,807 | 209,082 | 4,913 | 874,191 | 7.6 |
| 浜 松 南 | 1,032 | 694,775 | 95 | 84,594 | 754 | 116,107 | 1,881 | 895,476 | 7.7 |
| 他12農協 | 6,258 | 1,916,244 | 766 | 325,497 | 7,266 | 856,911 | 14,290 | 3,098,652 | 26.9 |
| 合 計 | 21,848 | 6,551,918 | 4,134 | 1,158,641 | 40,616 | 3,841,172 | 66,598 | 11,551,731 | 100 |

浜松管内で共販委員会を持つ品目は6品目、すなわち馬鈴薯、洋菜、砂糖エンドウ、玉葱、甘藷、大根です。最も長い共販実績を持っている品目は馬鈴薯で昭和57年夏には共販30周年記念大会を実施しております。洋菜は浜松洋菜8品目と言う事でセルリーを中心にセット販売をしており、他の品目はパセリ、カリフラ、プロ、メキャ、レット、レタス、ミニセルリーの7品目です。洋菜は昭和58年秋に共販20周年記念大会を実施しております。

共販委員会では販売事業を円滑に進めるため出荷初めには、生産者大会、市場をまじえての日揃会、出荷にあたって集荷場の巡回検査等を行ないます。1つの農協だけでなく、多くの農協から出荷されますので各農協より農家役員を選出します。農家役員は職員と共に各出荷農協をそれぞれ巡回検査を行ない農協間格差、あるいは集荷場間格差の出ないように検査します。例えば洋菜の主要品目であるセルリーについてですが、浜松地区では3月下旬～12月上旬までは真空冷却装置の運転を行なっています。したがってこの期間でのセルリー出荷は施設のある東農協および西農協大久保支店へと集荷され、そこで農家役員と職員で検査が行なわれ、その他の出荷期間につきましては各出荷農協を巡回して検査が行なわれます。

次に玉葱は浜松管内で最も出荷の多い農協は浜松西農協で全体の70%余を出荷します。主要農協は1つですが、西農協での集荷場の数は30カ所を数えます。このため日揃会および検査は部落ごと、または集荷場ごとに実施し集荷場格差の出ないように配慮されます。

このように浜松管内での共販品目は多くの農協または、集荷場から集められた集荷物となりますので品質管理からも日揃会および出荷物検査は大変重要な作業となりました。出荷された品物が市場なり消費者からの苦情

が起こったとなれば、集荷および検査が適切に行なわれなかった事となります。

私はそさい研究会の活動ポイントは指導事業と販売事業の接点にあるのではないかと思います。販売上問題となる事と、指導上問題となる事は必ずしも一致しないでしょう。しかし1つの問題点を販売、指導それぞれの立場で問題解決へと進めていく事が大変ではないでしょうか。市場から荷物を送れ/送れ/と言われた時代は大量出荷の方法を考えたでしょうが、近頃は市場なり消費者はどんな出荷物を望んでいるのかと言う事に基づいた栽培を考えなくてはならないとも言われ、栽培技術よりも何を栽培するかを選択の方がむづかしくなりそうです。

活動内容

研究会は具体的にどのような活動をしているのか紹介いたしますと表一3のとおりであります。活動の主な内容は土壌検査の検討、近効野菜の視察および研究会、洋菜類の試験圃設置と巡回検査等です。

浜松地区の出荷物が今後とも銘柄産地として取引されるには、大変な努力が必要だと考えます。それは今後一元集荷された新興産地の品質の良い出荷物と多くの品目が、産地間競争をしなくてはならない状況が考えられるからです。こんな事からそさい研究会の今後の課題として品種の統一から初まり、施肥防除体系の整備を図る。これに基づいた栽培基準の作成、講習会の開催などが上げられます。

すでにこういった仕事を進めているのですが、さらに検討を加え浜松管内全域のレベルアップを図るよう仕事を進める必要があるでしょう。品質の統一された出荷物を継続安定供給ができるよう、栽培の上でも考えなくてはならないと思います。

第3表

| 年月日 | 昭和58年度事業報告 | 会 場 | 年月日 | 昭和59年度事業計画案 | 会 場 |
|--------|---|---------------|-----|-------------------|----------------|
| 5月11日 | 1. 土壌診断結果と今後の施肥方法について 2. 昭和58年度事業計画について | 浜松農業会館 | 4月 | 洋菜類栽培歴の検討及び作成 | 浜松西農協 |
| 6月22日 | 1. 名古屋北部市場視察 2. 清洲パセリ栽培視察 | 名古屋近郊 | 5月 | 地場野菜及び夏作試験圃の検討 | 浜松南農協 |
| 7月29日 | 1. パセリ採種圃屋根掛け方式検討 2. 野菜栽培の技術問題について横濱植木K.K. | 中央農協 (橋本氏) | 6月 | 野菜栽培手引書の作成 | 浜松東農協 |
| 8月23日 | 1. 土壌検査結果と今後の対応について 2. 最近の肥料、農業状況について | ひくまの寮 | 7月 | 夏作試験圃現地巡回 | 浜北市農協等 |
| 9月19日 | 1. パセリ品種検討圃場巡回 2. 洋菜試験圃巡回 | 浜松農業会館 | 8月 | 秋冬野菜試験圃設置検討会 | 浜松中央農協 |
| 10月6日 | 1. 野菜育苗機検討 ソイルブロックマシンの実演 | 浜松東農協 | 9月 | 新野菜研究会 | 浜松市 フラワーパーク |
| 10月26日 | 1. 洋菜類の作柄と今後の対策について圃場巡回 | 浜松農業会館 | 10月 | 秋冬野菜試験圃現地巡回 | 管 内 |
| 12月14日 | 1. 中園野菜、サニーレタス圃場視察 (浜松技術協参) | 磐田郡豊田町 | 11月 | 洋菜等産地視察 | 県 外 |
| 1月30日 | 1. セルリー品質向上対策巡回、糖度検査 2. 洋菜品種試験圃巡回 | 浜松農業会館 | 12月 | 省エネ施設現地視察 | 磐田他 |
| 2月27日 | 1. 洋菜類品質向上対策 2. 洋菜等生産費調査 | 浜松農業会館 | 1月 | 洋菜類試験圃現地巡回 | 伊和富農協 |
| 3月13日 | 1. 58年度試験成績発表 2. 59年度そさい研究会事業計画 | 浜松庁舎 | 2月 | 昭和59年度試験成績発表会 | 浜松農業会館 |
| | | | 3月 | 昭和59年度事業反省会と次年度計画 | 湖西市農協 |